

2025 年度 一般 出題意図

【英語】

受験生諸君が標準的な高等学校英語を習得しているか確認することを目的とします。具体的には語彙・文法・読解に関して、教科書に準拠した基礎的な学力を有しているか判断することを意図しています。語彙については口語特有の表現も含まれます。文法は基本的な事項を正しく理解しているかを見ます。読解については語の意味を文脈に即して理解し、文章全体の内容を読み解く力を身に付けていることを重視します。英語に対するこうした基本的な力を測ることが本学の試験の意図です。

【国語】

大学で学ぶためには文章を正確に読解することが必要となります。そしてそのためには、基本的なことばの知識も必要となります。そこで国語の一般試験では、主に現代の論説文や随筆を素材として、そこに書かれている内容を正確に理解できているかどうか、そこで使われている語句の意味を知っているかどうか、といった点をたずねる問いを出題します。それらの力を養うためには、普段の国語の勉強のほか、読書がとても有効な方法なので、受験生諸君には読書の習慣を身につけることをお勧めします。

【数学】

高等学校の学習指導要領に沿った数学Ⅰ・数学Ⅱの基礎的な知識・技能が定着しているかを確認し、さらにそれらを応用して論理的に問題を解決する力を測ることを意図しています。問題は、数学Ⅰ・数学Ⅱの単元からの大問4問で構成されます。各大問は、標準的な教科書の基礎～練習問題レベルの知識で解答可能な、関連し合う小問によって組み立てられています。難問奇問は避け、教科書レベルの理解を深く問うことで、本質的な数学の力を測定します。特に、基礎知識をいかに活用できるかという、解答に至る思考プロセスを重視しています。

【日本史】

日本史の試験では、古代・中世・近世・近現代までの全時代を対象にしつつ、特に近現代にやや重点を置いて出題します。出題の目的は、複数の高等学校教科書を参考にしながら、受験者が基本的な理解を身につけているかを確認することです。具体的には、(1)各時代の大まかな流れを把握しているか、(2)教科書に掲載される代表的な史料の意味を理解しているか、(3)各時代における日本と外国との関わりを理解しているか、の三点を重視します。さらに、各時代の経済・社会・文化に関する基礎知識についても確認し、歴史を多角的に理解しているかを問います。

【世界史】

出題の分野については、政治史をはじめ、経済・文化・社会史から、地域については、ヨーロッパ・アメリカなどの欧米地域、中国・インド・イスラームのアジア地域など、いずれもできるだけ偏りのないように作問しています。

時代についても、古代、中世、近世、近現代とバランスの良い問題作成を心がけています。

教科書・用語集をもとに基礎的な知識を問う問題を中心に作問していますので、これらをしっかり読み込み、歴史を大きな流れの中で理解しながら学習することが必要です。